

給水スポットの拡大による 使い捨て飲料容器の削減活動の全国展開

活動地域  日本全域



日本初、水道直結式仮設給水ステーション

課題

ペットボトルなどの使い捨て容器に入った飲料の消費の増加は、資源消費量、CO₂排出量等の環境負荷の増加につながっており、水道水や地域の水資源への関心は低い。

目標

日本の多くの地域で給水スポットが設置され、利用されることで、ペットボトルなど使い捨て容器入り飲料の消費が減り、環境負荷の低減と潤いのあるまちづくりが広がること。



今後の展望

1年間の活動で、多くの地域の自治体や市民団体から活動への参加の問合せを受け、2020年度はさらに活動地域を拡大していく。オリンピック開催の2021年夏をターゲットに「リフィル」を定着させたい。

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- 給水スポットを広げる連携プラットフォームRefill Japanを設立、5月にキックオフイベントを開催。ウェブサイト上のマップ等全国共通で利用できるツールを制作
- 全国9地域で地域リフィルが立ち上がり、既存の公共水飲みインフラ確認、店舗への無料給水協力依頼等の活動を開始
- 祇園祭等4イベントで日本初の水道直結式仮設給水ステーションを導入
- 1月25、26日に高松でRefillサミット2020を開催、9地域の代表が一堂に会し活動経験を共有、戦略を議論、公開セッションでRefillサミット2020高松宣言を発表



高松サミットに集まった9地域の代表

給水スポット登録数 **600件**

活動地域数 **9地域**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **35%**

苦労した点と工夫した点

● 苦労した点

イベントでの給水ステーション運営や日常事務作業に人手が必要でスタッフ、ボランティアの確保に苦労した。

● 工夫した点

キックオフイベントと直後のエコライフフェアの給水ステーションを絵になるように演出したことで、メディアに多く掲載された。

〒110-0015
東京都台東区東上野1-20-6
丸幸ビル3F
E-mail : info@sui-do.jp
HP : <http://sui-do.jp/>
HP : <https://www.refill-japan.org/>

